

ゲートキーパー養成講座（フォローアップ研修）
～ 生きることを支援する part 3 ～

日 時

2012年1月6日 13:30-15:30

主 催

兵庫県神崎郡市川町 兵庫県中播磨健康福祉事務所

講 師

大阪彩都心理センター 竹田伸子（臨床心理士）

<http://saitokodomo.com/>

内 容

ゲートキーパーが地域で活躍するために必要な二つのS。

一つ目は、孤立感を抱える人の心に添う「スキル」、話を聴く「スキル」。

二つ目は、ゲートキーパーが活躍できる「仕組み・仕掛けづくり」。

ゲートキーパー自身が軸となって作っていかねばならないことがあります。

1. 生きることを支援する(Ⅲ) ～深めよう 話の聴き方～

聴く時に大切にしたいことは？

心がけたいこと、避けた方がよいことを、

ワークを通して実践的に学びます。

2. 自殺を防ぐには ～あなたができること、みんなで話し合おう～

スキルを身につけても、それを必要とする人と出会わなければ支援はできない。

ゲートキーパーは、どうすれば孤立感や孤独感を抱える人と出会えるのか。

「私をわかってくれる人がこの町に1人はいる。私は独りじゃない」

と気づいてもらいたい。市川町から「孤立」「孤独」をなくしたい。

そのためにどんな活動をすればいいのか。

活動の対象者は？ 提供する内容は？ 活動のネーミングは？

4～5人のグループで話し合い、発表して全体で共有し、今後につなげましょう。

自殺は予防できる死です。この町の自殺予防のために何が必要でしょう。

